

令和3年度 学校評価資料

①重点努力目標及び具体的実践事項 総括評価

*下記アンケートをもとに職員で検討し、
各項目の評価を行った。

②資料

- ・職員アンケート結果
- ・児童アンケート結果
- ・保護者アンケート結果

③学校運営協議会による意見等

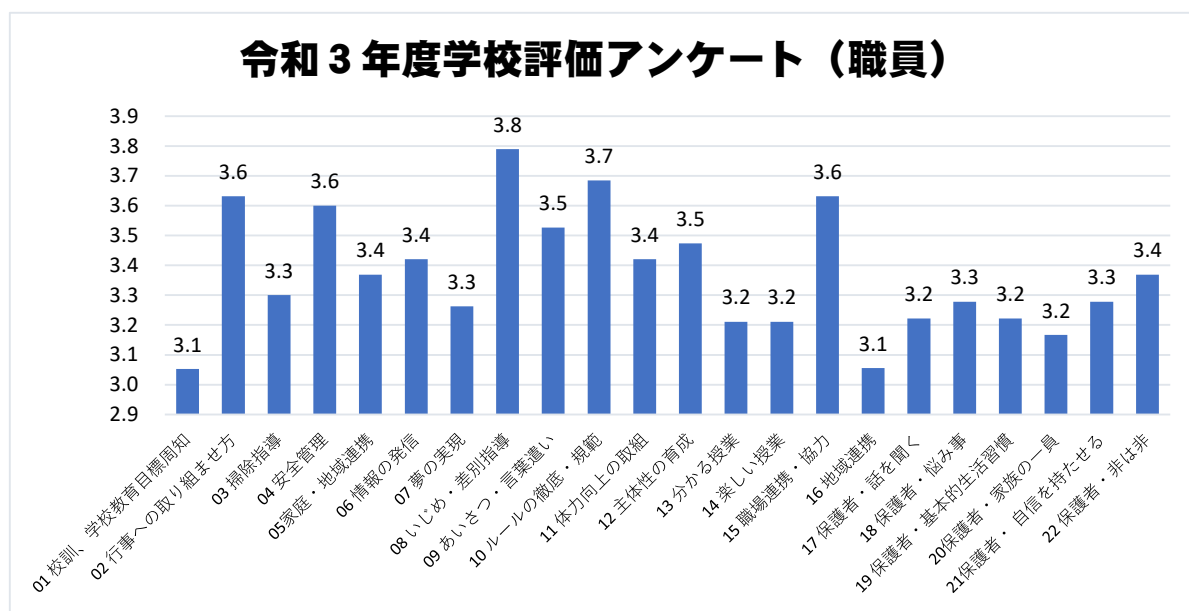
重点努力目標及び具体的実践事項の総括評価

	具体的実践事項	評価	重点努力目標	評価
「授業づくり」プロジェクト	1 学級（個人）の実態や全学調、県学調の結果をもとに、課題を踏まえた授業改善に取り組む。	3.2	「学力向上アクションプラン」	○
	2 授業や学力充実タイム等において、個人（学級）の課題について計画的・継続的な補充指導を行う。	3.4		
	3 授業改善ステップワン（「適切な課題設定」と「子供の活動時間の保証」）に取り組む。	3.4	校内研修を通じた授業改善	◎
	4 子供が主体的に課題に取り組み、「わかった」「できた」を実感する単元デザインを工夫する。	3.6		
	5 ユニバーサルデザインの視点に立って、「視覚化」「焦点化」「共有化」に努める。	3.4		
	6 家庭学習の手引き等をもとに、家庭学習の方法について具体的に指導し、家庭学習習慣の形成を図る。	3.2	主体的な家庭学習習慣の形成	○
「体づくり」プロジェクト	7 「自分からすすんであいさつする」の定着に向けた継続的指導を行う。（やつしろスピリッツ）	3.5	家庭と連携した基本的な生活習慣の育成	○
	8 保健・食育・体育に関する情報を保護者に向けて発信し、啓発を行う。	3.3		
	9 年間計画に従い、体育の授業で各運動領域及び保健領域をバランスよく指導する。	3.6	体育授業の充実と体育的行事等の活性化	◎
	10 体育的行事や日常的な体育的活動を効果的に活用する。	3.5		
	11 年間計画に従い、学級活動で食育・保健・安全の指導を確実にを行う。	3.3	計画的な食育・保健・安全教育の実施	○
	12 落ち着いた雰囲気の給食準備と給食の時間になるよう指導する。	3.5		
「心づくり」プロジェクト	13 係活動や委員会活動を充実させ、全職員で見守りながら児童の自己有用感を高める指導を行う。	3.7	自己有用感を育む集団づくり	◎
	14 児童一人一人の個性が大切にされる、支え合う学級づくりを行う。	3.6		
	15 些細なきまりの不徹底に敏感に気付き、児童に指導を徹底する。	3.6		
	16 「話す人の顔を見てしっかり話を聴く」の定着に向け継続的指導を行う。（やつしろスピリッツ）	3.5	いじめ・不登校の未然防止と解消	◎
	17 児童の観察や連絡帳等を通して、児童の表情やいじめ等の発生に細心を配る。	3.6		
	18 「いじめ」発生時の丁寧かつ真剣な教師の姿を示し、いじめ根絶の機運をつくる。	3.8		
	19 愛の1・2・3運動プラス1等を通して、欠席児童（不登校児童）へ適切に対応する。	3.6	道徳教育の充実	○
	20 年間計画に従い、道徳の時間を確実に実施する。	3.5		
	21 「考え、議論する道徳」に向けて、道徳授業を充実・改善する。	3.2		
「絆づくり」プロジェクト	22 学校教育活動の情報を地域や家庭に積極的に発信し、共有する。	3.5	コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の一体的な展開	◎
	23 けがや病気、児童間のトラブル等に対し、必要に応じて保護者と連携をとる。	3.8		
	24 一中校区におけるめざす子ども像を共有すると共に、六校園の共通実践事項を徹底する。	3.2	幼・保、小連携と小中一貫教育の充実	○
	25 学級や委員会活動等、児童の作品等の掲示を継続的、効果的に行う。	3.4	潤いのある教育環境の整備	◎
	26 「靴のかかとを靴箱の手前のへりにそろえる」の定着に向け継続的指導を行う。（やつしろスピリッツ）	3.3		
	不祥事防止	27 校務分掌における状況について、関係者・管理職への連絡・報告・相談を行う。	3.7	不祥事0
28 情報の適切な管理や飲酒・体罰等、不祥事防止についていつも意識する。		3.7		
校務改革	29 自らの校務について、見通しを持って取り組む。	3.4	働きがいのある職場	○
	30 他の職員が仕事の見通して持てるよう、ゆとりのある提案をする。	3.3		

令和3年度学校評価アンケート（職員）

	評価				19	得点化
	4 とても	3 少し	2 あまり	1 全く		
01 校訓、学校教育目標周知	1	12	6	0	19	3.1
02 行事への取り組みせ方	12	7	0	0	19	3.6
03 掃除指導	6	12	2	0	20	3.3
04 安全管理	12	8	0	0	20	3.6
05 家庭・地域連携	7	10	2	0	19	3.4
06 情報の発信	8	9	2	0	19	3.4
07 夢の実現	5	12	2	0	19	3.3
08 いじめ・差別指導	15	4	0	0	19	3.8
09 あいさつ・言葉遣い	10	9	0	0	19	3.5
10 ルールの徹底・規範	13	6	0	0	19	3.7
11 体力向上の取組	8	11	0	0	19	3.4
12 主体性の育成	9	8	2	0	19	3.5
13 分かる授業	4	13	2	0	19	3.2
14 楽しい授業	4	13	2	0	19	3.2
15 職場連携・協力	12	7	0	0	19	3.6
16 地域連携	1	13	4	0	18	3.1
17 保護者・話を聞く	4	13	1	0	18	3.2
18 保護者・悩み事	5	13	0	0	18	3.3
19 保護者・基本的生活習慣	4	10	4	0	18	3.2
20 保護者・家族の一員	3	12	3	0	18	3.2
21 保護者・自信を持たせる	5	11	2	0	18	3.3
22 保護者・非は非	7	10	2	0	19	3.4

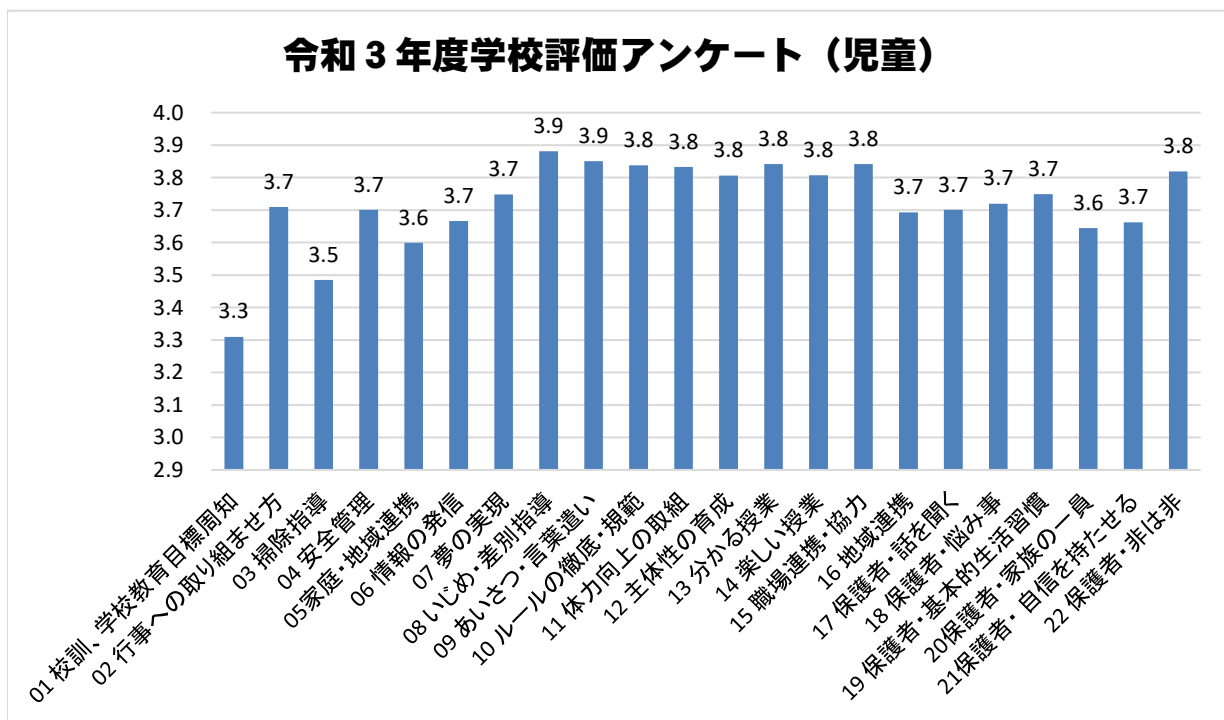
令和3年度学校評価アンケート（職員）



令和3年度学校評価アンケート（児童）

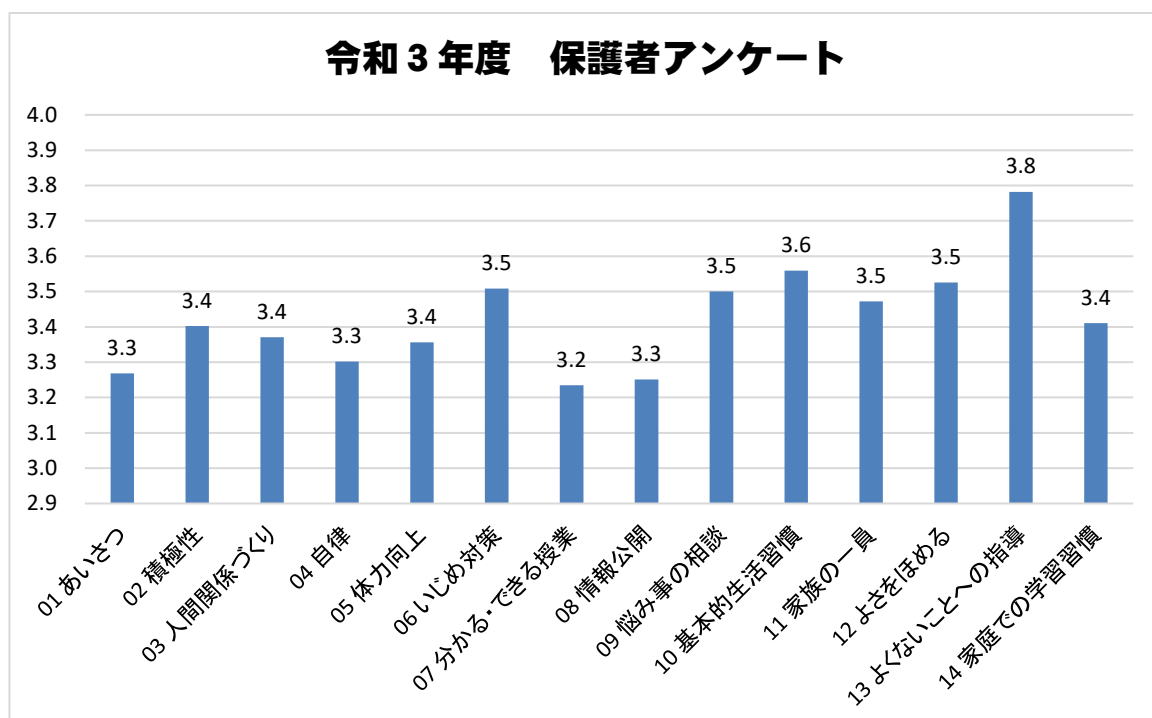
	評価				得点化	
	4 とても	3 少し	2 あまり	1 全く		
01 校訓、学校教育目標周知	111	69	29	20	229	3.3
02 行事への取り組みませ方	163	54	9	1	227	3.7
03 掃除指導	115	93	19	2	229	3.5
04 安全管理	195	10	4	18	227	3.7
05 家庭・地域連携	144	63	16	4	227	3.6
06 情報の発信	162	49	12	5	228	3.7
07 夢の実現	176	46	6	2	230	3.7
08 いじめ・差別指導	202	24	0	1	227	3.9
09 あいさつ・言葉遣い	194	29	5	0	228	3.9
10 ルールの徹底・規範	191	35	2	0	228	3.8
11 体力向上の取組	189	33	5	0	227	3.8
12 主体性の育成	183	42	2	0	227	3.8
13 分かる授業	194	32	1	1	228	3.8
14 楽しい授業	184	39	5	0	228	3.8
15 職場連携・協力	191	34	2	0	227	3.8
16 地域連携	160	62	5	1	228	3.7
17 保護者・話を聞く	167	43	13	4	227	3.7
18 保護者・悩み事	172	45	7	4	228	3.7
19 保護者・基本的生活習慣	178	38	7	4	227	3.7
20 保護者・家族の一員	163	43	14	8	228	3.6
21 保護者・自信を持たせる	165	42	14	7	228	3.7
22 保護者・非は非	190	30	5	2	227	3.8

令和3年度学校評価アンケート（児童）



令和3年度保護者アンケート

	評価				得点化
	4 とても	3 少し	2 あまり	1 全く	
01 あいさつ	52	93	32	2	179 3.3
02 積極性	72	80	27	0	179 3.4
03 人間関係づくり	66	101	11	0	178 3.4
04 自律	56	105	17	1	179 3.3
05 体力向上	69	69	36	3	177 3.4
06 いじめ対策	95	69	13	2	179 3.5
07 分かる・できる授業	48	99	29	3	179 3.2
08 情報公開	49	92	36	2	179 3.3
09 悩み事の相談	89	75	14	0	178 3.5
10 基本的生活習慣	104	60	13	2	179 3.6
11 家族の一員	86	72	19	1	178 3.5
12 よさをほめる	94	76	9	0	179 3.5
13 よくないことへの指導	140	39	0	0	179 3.8
14 家庭での学習習慣	79	73	23	3	178 3.4



八代小学校コミュニティ・スクール「学校運営協議会」(学校評価委員会)

1 期日 令和4年3月15日(火) 15:00~16:00

2 場所 八代市立八代小学校 相談室

3 次第

(1) 開会

(2) あいさつ

八代小学校 校長 小倉 史朗

学校運営協議会 会長 森 繁任 様

(3) 説明

①八代小学校学校運営状況

今岡 康則 (八代小学校教頭)

②学校評価

樋口 勇輝 (八代小学校教務主任)

③質疑応答

(4) 協議

①子供たちの課題や来年度の方向性等について

②コミュニティ・スクール(国版)への移行について

③その他

(5) 閉会

4 委員からの意見等

○アンケート結果を受けての学校評価についての説明を聞き、総括評価が適切であると判断した。

○家庭学習に課題が見られる。家庭学習は、学校だけの力では難しいので、家庭の協力が必要。

(学校から)子供たちの机に向かう習慣はできており、宿題に関しては概ねできている。

○子供たちの地域でのあいさつもよくできている。住民自治協議会の青少年部会が取り組んでいる「あいさつの輪」の取組の効果があるのではないかと感じている。

(学校から)地域の方々からの声かけがあり、大変ありがたい。地域での評価を子供たちにも伝えたい。

○コロナ禍でなかなか難しいが、地域と学校が密接につながっていくとよい。

○コロナ禍ということもあり、家庭訪問や懇談会など直接保護者と話す機会が減り、少し学校と保護者との距離があるように感じる。

(学校から)コロナ禍でもできる保護者との連携を考えていきたい。